

～ 心地よい「音色」と生徒活躍の風景 ～



ハンドボール部ジャージは、書道 大澤先生の手書き文字です 長野県高校新人大会中信大会 ハンドボール(本校開催)は男女アバック優勝!

10月3日、後期がスタートしました。秋空の下、吹奏楽部のアンサンブルコンテストに向けた楽器の音色が響き渡る校内では、3年生の進路実現のための補習、運動部の掛け声、各々の思いを携えた活動、学校らしい風景が広がっています。校長室には生徒の活躍の報告が届けられています。運動部の新人戦が始まり県大会、北信越大会へコマを進めた部活も多々、代替わりした生徒たちも徐々にチームの結末が見られています。先日本校で行われたハンドボールの中信大会。終日、大会長として安全管理のため試合を応援できました。全員が高校から初めて始めた競技であるにもかかわらず、なめらかな「送球」が立派に構築され始めており、本校男女ともに見事優勝を飾ることができました。今後とても楽しみなチームです。また、ほんの一例ですが、ボランティアの大会では本校4名の部員が大活躍したという顧問からの報告、写真部の県高校写真展へのエントリーが他校と比較しても群を抜いて多数であったこと、下欄の放送部の活躍、ダンス部は「夢テレビ」に出演して美しい演技を披露しました。後期は各々の進路実現に向けた学びの蓄積と活用です。「探究学習」の成果発表も含め非常に楽しみであり、後期も生徒の活躍から目が離せません!

NHK 杯全国高校放送コンテスト 放送部 優良賞!

(9/29 ネットニュース 市民タイムスより引用)

今夏に行われ標記コンテストのラジオドキュメント部門で、全国170作品の中から、松本深志高校と本校の両校が4位の優良賞を受けました。

本校の作品は「黒いオムレツ」。2年生の丸山さんと小林君が作成。乳がん患者会「桜むね」が学生ボランティアと手がける人形劇の活動を取り上げました。2人も仲間に加わりながら取材をし、参加者が活動から学んだと語る「言葉の重み」に注目しながら、自分たちの主観も交えて「言葉の持つ力を届けたい」と番組にまとめました。本校の放送部は、体験入学で披露する学校紹介DVD作成ほか、各活動を「伝える」という使命をもって追いかけて、文化祭等でも放送関係を一手に引き受ける重要なポストとして活動してくれています。今後も活躍が楽しみです。受賞おめでとう!!



小林君 (右写真)

放送部 2年 丸山さんと小林君